

「古墳時代における都市化の実証的比較研究—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」  
第7回研究会のお知らせ

岡村秀典 氏（京都大学人文科学研究所）  
「中国における都市の誕生」

日 時：2018年10月13日（土） 13時30分～16時45分（開場13時）

岡村氏発表：13時30分～15時30分

質疑討論：15時45分～16時45分

場 所：大阪歴史博物館 4階 第1研修室

（大阪市中央区大手前4-1-32 TEL. 06-6946-5728）

参加費：無料（定員60名先着順）

問合せ：（公財）大阪市博物館協会 大阪文化財研究所（TEL. 06-6943-6833）



現在、大阪・福岡・奈良の発掘調査に携わる担当者などを中心に、都城制以前の「都市化」について地域間比較研究をすすめています。本共同研究では、古環境復元、必需物資の需給、人口集中地の機能分化などを切り口に研究会などを開いてきました。また比較対象として、世界で最初に都市が誕生した西アジアの最新の研究成果を取り上げました（第4回研究会：小泉龍人氏）。

今回は、日本列島に近い地域で最初に都市を生みだした中国における都市誕生について、研究の第一人者である岡村秀典氏にご発表いただきます。

一般的な社会発展における比較資料としてのみならず、分業・流通、それらがもたらす社会経済基盤の変化に対応する都市化（集住）の工夫・アイデアなど、中国から影響を受けた朝鮮半島の諸地域から間接的に日本列島の人々が学んだことも考えられます。

プロ・アマの研究者・関係者、考古学・歴史学を学ぶ学生など、ご自由にご参加ください。

本会は、科学研究費基盤研究C「古墳時代における都市化の実証的比較研究—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」（研究代表：南秀雄 研究期間：平成28—30年度）によるものです。